から二十三日まで幕張メ 寒さ厳しい二月二十日 イント仕上げ競技 主查

と共に、先ず感謝を申し のペイント職種は、昨年 れる状態でした。日広連 り開催することが出来ま 六名の情熱あふれるチャ 頂いた関係者のご努力で ッセで開催された今大会 した。参加選手への敬意 レンジャーのご出場によ 事務局や選手を派遣して **个足で競技開催が危ぶま** れの時点では出場選手

去につきましては千広美 礼を申し上げます。 事長ほか役員の方々に大 変お世話になり、 の中野理事長はじめ副理 「新たなレコード」

西佳奈さん(兵庫・侑オ 続いて、同大会粘着シー スターのデザインを、二 治氏が今大会のペイント た。更にご主人の中西正 ハラ工芸)が担当しまし ト部門で金賞に輝いた中 がありました。大会ポ 七回大会の鎌田さんに

今大会も特筆すべきこ

仕上げに出場し、見事銀

婦揃ってトップクラスの 賞を獲得するというご夫 入賞を果しました。技能

日 広 連

「タイトル」

選手の意図が如何に適切 に伝わってくるかがポイ まず、「まつり」として

するという成果を上げま た渡邉樹氏(北海道)は、 内閣総理大臣賞の栄に浴 です。加えて、金賞を得

ジを『男の祭』『夏祭り』 様々なまつりのイメー

らない原稿でした。 数は仕上がりの色が分か たが、ペイント部門の半 員綺麗なカラー刷りでし 粘着シートの選手は全

イトルもありました。 表示する。ですが、フォ トルをロゴタイプ化して ントそのままのようなタ テーマに相応しいタイ

品(中西氏)はユニークで

また、会場の設営、

逆風の中でペイントに情 気概が伝わる若手、一方 二〇代、三〇代の若手四 あり、技能五輪で培った テラン二人という特色が 成績を上げた三人を含む 熱を注ぐベテランの競技 技能とセンスそして挑む に感服を致しました。 人と、還暦を越えた大べ

「テーマー祭」

一仲俊夫 能五輪に出場し、優秀な 今回の参加選手は、技

性ある表現をしました。 興祭』として各選手は個 『収穫祭』『御神火祭』『復

背景色はダークブルー

やブラック系が多いなか オレンジ系ブラウンの作 ントで、デザインの先進

(平成27年)4月1日

とが益々少なくなってい 文字の良否、筆で書くこ ペイントの特色である

るだけに、評価のウエイ トが大となります。

金賞 渡邉樹氏(北海道)

的花火模様にも拘らず、 火を見て歓声を上げる声 熟さが残りました。 緻密に手描きしたもので 彼の下図原稿は、幾何学 が聞こえてくるようです トは、華やかに広がる花 祭りの観衆とのレイアウ 火」を装飾的に表現して 方の夕日のぼかし方に未 上げました。しかし、遠 これをかなり根気よく板 おり、タイトルロゴと夏 **面に拡大描画し上品に仕** 日本の夏の風物詩「花

銀賞 中西正治氏(兵庫) 勇壮な男の祭り、神輿

た。彩色も個性的で、ぼ が優れています。採点評 かしの表現が高い技能レ 価では一、二を競いまし プしたデザインは、着想 とともに荒々しく担ぐ シデ棒」をクローズアッ

ウィンの象徴として、

は半数が不適正でした 文字・サブコピー」 ボチャの背景のぼかしと の質を高めています。カ FESTIVAL」のロ ゴも工夫がなされて画面

豊穣」のタイトルで、古 ランです。収穫への感謝 ぼかしや描画技術も優れ かなり資料を集めて考え と喜びを「祭り」で表現し 優秀な技能を持つ大ベテ えたいかが今一歩でした。 ています。ただ、何を訴 字も篆書で表現しました。 でデノテーションした、 徴的に描き、祭りを鳥居 の農耕民のスタイルを象 てきた日本の文化「五穀 た作品です。タイトル文 前回銀賞を獲得した、

ケのようにも見え、強烈 「シデ棒」の描き方がブー さを弱めてしまいました。 がら「男の祭」を強調する ルにあります。残念な いました。

守屋一美氏(静岡)

穫の喜びが表現され、 謝しつつカボチャをハロ い視点からとらえていま 実りの秋、食べ物に感

ロゴマークの調色

のあるデザインです。ボ

クニックが上がると上位 優秀賞 古川求氏(福島) 右下の野菜の描き方のテ

込んだ「祭」のシンボルで にも例がありましたが、 いきます。鳳凰の裏側に して紫色系へと繋がって シートに重ね貼り、尾が 行きを出しています。 は他の黄色で影をつけ奥 右側へと流れ、途中反転 ある鳳凰の図柄を黄色の 「祀る」を使い「人は祀り タイトルロゴは、課題 画面全体を黒ベースと 左半分は地球を包み 丸山将嗣氏(三重)

八木野寿人氏(新潟)

う気持ちの強さからいず 花火と灯篭のアイディア 心をこめて描きたいと思 は良かったと思います。 灯篭流しから発展した 没者を追悼する長岡市の 襲を受け一四八五人の戦 戦後七〇年、米軍の大空 れも大きく描き、板面の 余白が無くなってポイン なった実力の持ち主です トが見え難くなってしま 「復興祭」をテーマに、 技能五輪で日本代表に

石川秀男氏(静岡)

が、作品の迫力は最高で 山頂で採火された炎を灯 った富士山の「御神火祭」 した。世界文化遺産にな 今回の最高齢者でした 羽根の外枠ラインをつな かったのですが、鳳凰の げるかという点が興味深 ス一枚の部分をどうつな

れの要素を奥行きのある

とによってリアル感が出

切文字加工、

小さな画面に、それぞ

表現で丁寧に仕上げてい

をからませたインパクト 勇壮な様を表現しました。 メして富士山を表現し焔 「祭」の文字をデフォル

HARVEST

した神輿を、若衆が担ぐ

イント技術の継承を宜し 点がありました。 にお疲れさまでした。ペ 各選手の皆さん、本当

一くお願い致します。

粘着シート仕上げ競技 主查 中川知明

に抑えられているところ 凸・うき、などを最小限 たと思います で、すばらしい作品だっ がします。 がポイントだった様な気 とても大きなデザイン

吉田知惠子氏(福島)

描き、右側のアクセント 下へ紅白のヒモ(鈴緒)を 手に絵文字風にアレンジ が欲しかったところです しタイトルとしての強さ そして祈る」と、もう少 しています。その鈴から を、「祈る」には鳥居を上 が、「祀る」には神社の鈴 文字、サブコピーを入れ を幅広くとり、タイトル 帯を横に入れ、下の部分 画面の整理ができて良い で、制作上効果的ですし 四分割していて、四つの ています。図面は全体を 選択だったと思います。 切り離して作業できるの 絵柄(春・夏・秋・冬)を 上部・下部に黒ベース

バラバラになり、デザイ 例えば、四季のベースの ながりも感じます。とて 体的に均一感があり、 基本的に同系色のバック 思います。 ン性が下がってしまうと 色を変えていたらどうで も上品で、可愛らしく仕 しょうか。四つのコマが 上がっています。これが (赤系)にすることで、全 四つに分割した絵柄が

ぱいに大きな図柄をバラ

ンス良くまとめ、分かり

しいところは、画面いっ

この作品の一番すばら

になっています。

やすく明確に描かれてい

側の黄色と重ね貼りして る事です。技術的には左

いる部分と、右側黒ベー

火は裏貼りにフォグラス 重なっています。ある花 い作品でした。 作品です。 二に大輪の花火が何発か 画面構成は、左三分の

カシの技能と描き方に難 できる限りつなぎ目の凹 的にこの作品は欲しいなど く仕上がっているのです 得点をつけ、金賞と競っ 上がっていました。個人 ら奥行き感も十分出てい が実を結び、小さいなが 愛い、そして丁寧な作業 が、もう少し主張して欲 ます。気になる点は、 うだったでしょうか? 様な仕上げにしたら、ど 工夫欲しかったこと。例 マを単純な白抜き加工に しかったこと。四つのコ と思っています(笑)。 えば、写真のネガコマの していますが、もうひと イトルロゴは品良く美し 各審査員、異論なく高 全体的には、上品で可 すばらしい作品に仕 り」の文字が難しいとい う意見もありましたが、

処理ですから、作業とし

基本的に左側はスキマ

の表現をもう少しリアル みを表現したり、人の手

な感じで描いてみたり。

上がりが平面的になって

ては楽なの

ですが、出来

銀賞 石田誠氏(千葉) た作品でした。

ピー、花火の図柄、すべ りし、タイトルロゴ、コ てを抜き加工に徹底した 画面全体に黒をベタ貼

思いましたが、片側は紙 気のいる仕事量の大変多 ました。この作業の連続 テープの中間あたりをフ する原稿は、細めの紙テ で、抜いて抜いて、と根 リーハンドカットしてい イドをカットするのかと に丹念に貼り、その両サ ープを自由曲線で放射状 花火のラインをカット

仕方に変化を持たせるこ 系サンドを使い、発色の 品良くバランスがとれて 配置のバランスが良いこ いて、まとまった作品に ています。 すが、正直に言わせてい 仕上がったと思います。 とと、色彩的にもとても が、まず全体的に図柄と 遠くに花火も見えます 問題は仕上げの方法で

思います。 枠に入れ込んだために、 はみ出すくらいで良く、 もっと伸びやかに画面を が欠けてしまったように のラインに、伸びやかさ 下部に表現された火の粉 タイトル文字は、「祭 オレンジ系の花火は、

骨をライン

で表して膨ら

く、立体感を出すために

目立ち、美しく仕上がっ ゴでした。サブコピーの イトルと図柄とがとても かもしれません。 色が原稿ではもう少し強 ックスが古くFLもまば 少し色が薄くなりすぎた く出ていたようですが、 た作品でした。 一文字でパンチのあるロ 全体的には、大きなタ 余談ですが、ライトボ

上がりました。

次回はもう一歩高度な

作品にチャ

レンジして下

ことで、美しい作品に仕

図柄の置き方が良かった

らなため、光り方にムラ が出てしまったのかもし

優秀賞与

儀誠氏(沖縄)

下地に透明色五色を横

れません。全面にLED 見えたことと思います。 で均一に光るボックスを 使ったら、もっと綺麗に

> ら放射状に抜き部分を入 に貼り分け、中央下部か

が引いている様子を表し く表現し、左側へと人々 土井真由美氏(神奈川) 画面右側に神輿を大き れ、裏からも上下それぞ の色分けが

量を積んで欲しかったと ただくと、もう少し仕事 感じます。 しかったと ピーが画面の半分以上を ります。下部のイラスト にもう少し力を入れて欲 うな作品ですが、グラン ベントのサインに使えそ なり、あとはそれぞれの 占めていて、このままイ フェスティバルを表した にも少しも プリの作品としては図柄 ト化して貼っています。 「人」の表現を、イラス タイトルロゴ・サブコ

出しています。この下地 れに影をつけて深みを演 図柄の大部と の足りなさを いう印象があ 万々の健闘を讃えたいと

提灯は左側の影だけでな りすぎています。例えば、 者ですので、作品の仕上 貼込作業ともかなり上級 ていました。 がりはとても美しくでき

多少、図柄が平面的にな

でいるので、

その他気になる作品

気泡水泡が入ってしまい 入り、押込みができずに 当に残念でした。 重ね貼りするという、高 仕事量の作品でした。 品は、今回出場中一番の 大きな表現力のある作品 ました。デザイン的にも が少し足りなくなり、本 抜き部分で苦労して時間 度な内容のものでしたが、 ィング量の図柄をカット、 数の色を突き合せ貼りに 込み手順で休憩の時間に (高知)の作品ですが、貼 した後に、相当なカッテ もう一点、岡﨑宇哉氏 技術的にも、下地は複 山田静佳氏(大阪)の作

好印象でした。全体的に

「しずめの祭」のロゴは

で補うことが必要です。

しまいます

。それを何か

色のバランス、画面への

ので、頑張ってください。 な思いです。 でしたので、とても残念 次回に期待しています

訴え、主張をし、輝く作 ある作品の中でどれだけ 方法を組み合わせて、数 作品は、材料の選択、デ ザイン、図柄の精度、加工 その他、グランプリの ×

想する時から当日の仕上 う事ですので、作品を構 品が出来るかどうかとい 今回出場された選手の とても難しい大会です。 力も手抜きは出来ない、 グランプリは気力も技術 力と訓練の積み重ねです げに至るまで、本当に努 の意欲に期待すると共に、 次回からも、参加選手